

めまた 市議会だより

第71号

9月定例会

令和5年
11月1日



スポーツの秋
元気いっぱい運動会

内容

令和4年度決算
9月定例会 など



沼田市議会HP

令和4年度

決算審査特別委員会

令和4年度決算審査特別委員会は、委員長に山宮敏夫議員、副委員長に小野塚正樹議員を選出し、延べ6日間で110件の質疑の後、すべての議案について、賛成多数により、原案可決および認定となりました。

審査の過程で、総務部所管においては、職員人件費、シン・ヌマタ事業、水と緑の大地ふるさとめまた寄附事業、市町村乗合バス運行事業など、市民部・健康福祉部所管においては、戸籍住民基本台帳事業、地域自治推進事業、ごみ減量化対策事業、地域介護予防活動支援事業など、経済部・都市建設部所管においては、森林整備事業、新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業、中心市街地土地画整理事業、水道事業など、教育部所管においては、沼田給食センター給食費、教育研究所管理費、市民文化活動推進事業、沼田城遺跡発掘調査事業などが質疑されました。

一般会計

決算総額 235億4,024万円

議会費	1億8,788万円
総務費	29億7,793万円
民生費	69億9,141万円
衛生費	31億2,909万円
労働費	1億3,774万円
農林水産費	6億5,539万円
商工費	20億4,310万円
土木費	23億8,384万円
消防費	8億36万円
教育費	21億2,010万円
災害復旧費	1億2,491万円
公債費	19億8,849万円

優先事業

- 市町村乗合バス運行事業
- 地域自治推進事業
- 保健福祉センター改修事業
- 電子通貨事業
- 企業誘致推進事業
- 中心市街地土地画整理事業
- 旧久米邸洋館保存整備事業など

新規事業

- 電子決裁導入（文書管理事業）
- AIデマンドバス事業
（市町村乗合バス運行事業）
- DX推進（行政情報化推進事業）
- 小中学校トイレ洋式化事業
（小学校管理費・中学校管理費）
- 奈良古墳公園整備事業など



奈良古墳



旧久米邸洋館



デマンドバス

決算に賛成

（一部抜粋）

水と緑の大地ふるさとめまた寄附事業においては、返礼品目の拡大と、寄附金額が増加している点は評価できます。公共交通問題では、新しい形の公共交通が始まり、利便性の向上に向けた取組が行われていました。森林整備では、森林経営制度にのっとった森林整備に向けて、境界明確化の意向調査の実施や、ウッドスタート事業の展開等により、森林環境譲与税が有効活用されていると理解しました。市民文化活動の推進では、中央公民館廃止後の活動にあたって、引き続き課題の抽出と検討を重ね、成果を上げることが期待します。

決算に反対

（一部抜粋）

沼田市職員の約4割を占め、重要な役割を果たしている会計年度任用職員の処遇改善は急務の課題です。中央公民館の土地利用が示されなかったのは残念です。マイナンバーカードの普及を急ぐあまり、トラブルが続出し、個人情報保護への不安は広がるばかりで、廃止を求めるべきです。人口減少に歯止めをかける視点からも子育て支援は重要で保育料の無償化を急ぐべきです。めまた起業塾は評価しますが、開業した人への支援が課題です。中心市街地土地画整理事業は、抜本的な見直しが必要です。

延べ100件に ついて真剣質疑

主な質疑の抜粋

Q職員人件費 前年と比較して人員が増えた理由は

A令和3年度当初の職員数398名から、令和4年度当初の職員数418名で、20名の増員となりました。

定員400名を目標として削減してきましたが、定員適正化計画における業務の見直しにより増員となりました。具体的には、総務部内職員課の設置とDX推進のための増員です。

Qシン・ヌマタ事業 取組内容と成果は

A本事業の一つである風の谷事業では、令和4年7月、利根沼田への誘致に成功しました。調査委託費を計上し、プロジェクトに関わる市民との情報共有に努めてきました。

ヌマタ・アート・アンバサダー事業では、沼田市の発信力を高めるとともに、文化・芸術の風薫るまちづくりの一助とすることを目的にイベント等への協力ほか、

本市事業への作品の提供、本市をテーマにした作品づくりなどを通じた本市の魅力を発信していただいたものです。

Qコミュニティセンター事業 各地区の講座等の状況と市民活動等の活動状況はどうか

A各地区コミュニティセンターで延べ330回、1,855名の参加となっており、前年度の197回、1,156名に比較し、増加しています。

Q森林整備事業 経営管理事業委託料の具体的内容は

A白沢町高平地区における森林経営管理意向調査、屋形原町地内における森林境界明確化業務、下発知町地内における森林整備実施計画調査などの業務委託です。

Q水道事業 未収金の具体的な内容と「給水停止」の際の生存権の確保はどうか

A令和4年度の「未収金」の内容は、水道使用料金が3,480件で1,433万6,690円となっています。

「給水停止」においては、各種通知を発送の上、納入の願いをしており、これらの合間に、料金徴収委託業者や担当職員による電

話連絡や訪問にて、生活状況と経済状態を把握し、生存権に影響を及ぼすような給水停止業務のないように努めています。

Q戸籍住民基本台帳事業 マイナンバーカードの普及と個人情報保護をどのように取組んできたか

Aコミュニティセンターへの出張申請や、3人以上集まれば個人宅にも職員が訪問して申請サポートを行いました。

また、イベントなどにおいて周知を図り、休日窓口を開設し1人でも多くの市民が申請できるように取組みました。

個人情報保護については、「通知カード及び個人番号カードに関する技術的基準」および県を通じて通知される総務省から発出された文書等を遵守して安全に管理を行っています。

Q市町村乗合バス運行事業 利用者増加にどう取組、どう評価しているか

A実証実験としてデマンドバス運行を開始し、ワークシヨップを開催したほか、環境フェスティバルへの参加、ガイドマップの作成を行い広報活動に努めたほか、予約可能時間の変更、住民の皆さんの

意見を参考に乗降場所の設置や調整を行いました。当初に比較して次第に利用数が増加し、潜在的ニーズがあると考えています。

Q沼田給食センター給食費 地場農産物の取組について

A地産地消を推進するため、郷土の食に関する興味関心を高める地場産物の活用に取り組み、週3回の米飯給食には、利根沼田産「シヒカリ」を活用するとともに、野菜等の食材についてもできる限り地場産物を活用できるよう、関係機関と連携して取組んできました。

Q奈良古墳公園整備事業 デジタルコンテンツ作成業務委託料の具体的内容は

Aドローンを使用して撮影した空撮動画とともに、VR動画として、石室内部まで360度自由に観察ができる動画を作成し、インターネット配信により広く公開しています。



9月 定例会

9月定例会は、8月30日に開会し、9月20日までの22日間、市当局からの報告、令和4年度決算認定、令和5年度補正予算、条例の制定・改正、教育委員の任命同意など計28件と、議会からの請願書2件を審議しました。
また、7人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

犯罪被害者を支援

するための条例を制定

国で定める犯罪被害者等基本法に規定される地方公共団体の責務に基づき、犯罪被害者等を支援するため、基本理念、ならびに市、市民および事業者の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等の支援に関する施策を推進するために必要な事項を定めました。

犯罪に巻き込まれた被害者に、支援金を支給するほか、相談窓口を設置したり、各種生活支援制度の提供を支援したりする制度ができました。



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョっとなちゃん」

令和5年度補正予算

主な内容

住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金、農業災害見舞金、畜産飼料高騰対策補助金、望郷の湯・展示即売施設修繕料、空家解体補助金、道路草刈・樹木伐採委託料、市営住宅解体工事、学校の光熱水費の追加など、制度改正などにより予算に増減を生じるものおよび緊急に措置しなければならないものなどです。



常任委員会

総務文教常任委員会 地方財政に関する請願審査

「地方財政の充実・強化に関する意見書を国へ提出を求める請願」について、常任委員会で慎重な審査を行った結果全会一致で「採択すべきもの」と決し、国に意見書を提出することとしました。

本請願は、6月16日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2023、いわゆる「骨太の方針」に対するもので、主な趣旨は次のとおりです。

- ・マンパワーに頼るところが大きい保育・子育て支援関連の人材確保
- ・「まち・ひと・しごと創生事業費」の確保
- ・会計年度任用職員の処遇改善や雇用の確保
- ・林業需要の高い自治体への森林環境税の譲与額増額
- ・誰もが等しく教育の機会が保障されるための格差是正と財源確保
- ・社会的インフラ整備費への財政支援の実現

民生福祉常任委員会

LGBTに関する請願審査

請願の趣旨は、今年の6月23日に公布、施行された「LGBT理解増進法」について、国に対して、慎重な運用を求める意見書の提出を求めるものです。

常任委員会で慎重な審査を行った結果、全会一致で「不採択すべきもの」と決しました。

審査の過程では、国民の理解を深めることを目的とした理念法として施行された背景、見直し規定が設けられていること、社会の理解が十分でないために差別や偏見に苦しんでいる人が多数いるという現状を再確認しました。

社会全体の意識啓発・理解に向けた大きな一歩であり、国が様々な検討・取組をしている現状で、意見書を提出するにはタイミングとしては適しているとは言えないとの結論になりました。



(仮称)利根地区コミュニティセンター新築工事契約を議決

利根支所庁舎跡地に建設予定の支所とコミュニティセンターの機能を統合した、(仮称)利根地区コミュニティセンター新築工事の請負契約を議決しました。

契約額は2億6,150万円で、萬屋建設株式会社が受注し令和6年5月完成予定です。



(仮称)利根地区コミュニティセンター
完成予想図

人事案件

・教育委員会委員(同意)

長谷川 清 氏

・人権擁護委員(推薦)

中嶋 歩積 氏

吉野 敏弘 氏

北原 君子 氏

田崎 治子 氏

いざというときに備えて！



スマートフォン防災訓練を実施
を活用して

防災訓練で市議会議員の災害時の行動と役割を確認

9月20日、沼田市議会による防災訓練を実施しました。

平成29年11月に作成した沼田市議会災害対策会議設置要綱及び沼田市議会業務継続計画(BCP)に基づき行った防災訓練であり今回で2回目です。議会、議員の災害時の行動と果たすべき役割の確認を行いました。

訓練の内容は、市防災専門官による防災知識・災害時に関する講座や、各議員のスマートフォンを活用した訓練等です。

防災専門官による講座では、災害時の心構えや危機管理に関する考え方、具体的な災害時に応じてどのように活動すべきかなどの説明を受けました。

スマートフォンを活用した訓練では、災害発生時の議員の安否や居場所、周辺地域の被災状況や災害発生場所を防災マップを活用して報告する訓練を行いました。

今後も、議会として危機管理意識を高く持ち、より有効な防災対策を考えていきます。



各議員からの訓練報告画面



市防災専門官による講座の様子

一 般 質 問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。このページの内容は、質問した議員がそれぞれ自ら編集したダイジェスト版です。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

齋藤 智	沼田市地域コミュニティビジョンについて
高柳 勝巳	次期介護保険制度 こども家庭庁の新施策
大東 宣之	防災対策、子育て支援、マイナンバーカード
星野 妙子	人生の可能性を広げられる沼田を目指して
桑原 敏彦	ゼロカーボンシティの実現に向けて
井上 弘	安心して学べる学校環境を
山宮 敏夫	安心して暮らせる活気あふれたまちづくり

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継・録画配信
 会議名や議員名を選んで視聴できます。



沼田市地域コミュニティビジョンについて

齋藤 智



Q 地域コミュニティ実現の進捗状況と現在の課題について市長の見解を伺います。

A 現在、モデル地区に指定した利南、池田、薄根、川田地区に加えて、白沢地区、利根地区において地域づくりの取組を進めています。

自らの手で自分たちの地域をより住みやすくする、という意識を持っていただくことが必要と考えますので、話し合いを大切に、一歩ずつ着実に進めていきたいと考えています。

Q 学校との連携の検討について伺います。

A すべての地域で学校との連携は重要と考えています。

Q 学校における地域コミュニティの教育の検討について教育長に伺います。

A 学習指導要領では、社会に開かれた教育課程を実現し、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりが求められており、現在、市内の全小中学

校において、コミュニティ・スクールの導入を進めています。また、新たなふるさと学習を創出し、充実させていきたいと考えています。

Q 子どもたちが自治的集団を体験し、学習できる機会をつくることについて教育長に伺います。

A 現代は少子化が進み、一人や少人数で遊ぶ子どもも多くなっているなど、子どものコミュニティは大きく変化していると捉えています。学校では、集団生活において、自らの力で諸課題を解決する経験を通し子どもたちの自治的な能力や自主的な態度を育て、たくましさや豊かな人間性、社会性を身に付けられるよう、学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事等の特別活動を充実させています。



次期介護保険制度 ことども家庭庁の新施策

高柳 勝巳



【第9期介護保険制度の「見直し」では、要介護1・2認定者を「軽度者」と位置付けて、要支援者と同様に地域支援事業への移行を積極的に検討していると認識しています。

これでは、「入所介護」の対象となる要介護3以上の人だけとなり、「多様な人材や地域資源」の確保は、まさに机上の空論で、多くの方々が利用されている現在の訪問サービスや生活支援サービスは危機的状況へ追い込まれると推察します。改正への対応と、総合支援事業になることによる影響と対応を伺います。

沼田市では、国の動向を注視し、的確な情報収集に努めるとともに、総合事業の評価・分析を行うなど、準備を進めていく考えです。

【ことども家庭庁設置によりヤングケアラーや引きこもり、孤立支援、子ども食堂の充実・拡大が掲げられています。本市の対応について伺います。

【すべてに共通して「子ども家庭総合支援拠点」を中心に、学校などの各関係機関と連携し、慎重な対応を図っていく考えです。

また、「地域子供の未来応援交付金」活用による子ども食堂支援関連では、専任者を設置することが条件となっております。



身体に触れないヘルパーさんの仕事に資格は必要?

防災対策、子育て支援、マイナンバーカード

大東 宣之



【災害発生時の情報提供と避難時の安全確保と避難所の対応はどのようにされるのか伺います。

【避難指示等の発令時には、市ホームページ、防災アプリ、FM OZEや、車両広報などにより情報提供を行います。避難場所の周知のほか、防災マップの避難行動判定フローを周知し、早めの避難準備が安心してできるよう、啓発に取り組んでいきたいと考えています。

【産婦人科、小児科の状況と医療確保にどのように取り組むのか伺います。

【産科医師を確保するため、利根沼田広域市町村圏振興整備組合を実施主体として、周産期医療維持費負担金を措置したところ。医療確保については、利根沼田圏域の安定した医療体制整備に向け、国、県及び関係機関への要望を継続していきたいと考えています。

【保育料の無料化や給食費の無料化の拡充をどのように進めるのか伺います。

【保育料の無料化や給食費の無料化の拡充は、財政負担も大きくなることから、本市の保育・教育の状況、長期的な財政負担等を勘案しながら調査・研究を行っていると考えています。

【マイナ保険証の利用状況はどのようになっていて、マイナ保険証を持たない市民の受診をどのように確保するのか伺います。

【マイナンバーカード交付者のうち、66・3%が手続きを済ませており、マイナ保険証を持たない方には、新たに資格確認書を交付することで、被保険者が必要な保険診療を受けられるよう対応を図ることにしています。

※その他の質問：感染症対策



防災出前講座の様子

一般質問

人生の可能性を広げられる沼田を目指して

星野 妙子



利根地区防災行政無線

Q整備進捗状況と緊急告知FMラジオの難聴区域対策状況、デジタルが苦手な市民への対応について伺います。

A防災行政無線・代替手段の緊急告知FMラジオの貸与を希望した世帯は1,061世帯で利根地区の64.7%です。ラジオの難聴改修の申出は84世帯で未改修対応世帯は33世帯です。災害情報の取得困難な方へ固定電話を活用した音声メッセージによる情報伝達の研究を行います。

Q沼田市女性消防隊ソレイユの活動支援について伺います。

A女性消防隊ならではの能力を発揮できるよう研修などで情報共有を図り、士気の高揚と充実・強化に努めます。

Q不登校の児童生徒へどのような支援を行っているのか伺います。

A年間30日以上欠席した児童生徒は増加傾向にあり、不登校の原因や背景を把握し適切な支援

の目標や方針を定め寄り添った対応をします。

Q未婚率上昇に対する現状と新たな結婚支援について伺います。

A婚活イベントの開催に取組んでいます。マッチングアプリ等で知り合う統計もあり、時代に合わせた結婚支援について調査・研究を行っていきたく考えています。

Q3・3・1環状線(栄町工区)の現状と今後の計画について伺います。

A令和4年度末の進捗率は73%で、継続した事業を進めるよう協議していきたく考えています。

Q障がいの有無にかかわらず遊べるインクルーシブ遊具と健康遊具の設置について伺います。

A今後において、整備を検討していきたく考えています。



健康遊具「関節や筋肉のストレッチ」

ゼロカーボンシティの実現に向けて

桑原 敏彦



Q温室効果ガス削減目標を実現するための周知計画について伺います。

A沼田市地球温暖化対策実行計画「エコの実プラン」を策定し、その概要版を配付するなどにより周知を図っています。

Q企業の温室効果ガス削減の見える化推進について伺います。

A企業とも連携してゼロカーボンシティの実現を図っていきたく考えています。

Qペレットストーブの普及・支援について伺います。

A平成28年度からペレットストーブを導入する市民を対象に、助成を行い、普及に向けた支援を実施しています。

Q市民や企業に理解していただき、行動を起こしてもらうため、地域と子どもたちによる環境カルタづくりについて伺います。

A環境への意識を育むものであり、ゼロカーボンシティの実現に有力であると考えています。

Q市民や企業に理解していただき、行動を起こしてもらうため、地域と子どもたちによる環境カルタづくりについて伺います。

き、行動を起こしてもらうため、沼田市環境基本条例の改正を行う考えがあるか伺います。

A現行の「沼田市環境基本条例」にのっとり、本市の脱炭素施策を進めたいと考えています。

Q脱炭素先行地域への挑戦について伺います。

A豊富な地域資源を活用した脱炭素先行地域への可能性も含め、様々な脱炭素の取組を研究したいと考えています。

Qゼロカーボンシティ宣言を核とした産業振興について伺います。

A様々な分野における脱炭素化の取組が本市の産業振興や経済活性化に繋がるよう事業者との連携を図りながら、計画の推進に努めたいと考えています。



沼田市地球温暖化対策実行計画「エコの実プラン」

市政を問う!!

安心して学べる学校環境を

井上 弘



Q 事故が起きてからではなく、危険が分っているのであれば、事前に対策を進める必要があります。学校周辺、通学路などの安全対策はどうなっているか教育長に伺います。

A 「沼田市通学路安全プログラム」に基づき、児童生徒が安全に通学できるよう、関係機関と連携して通学路の安全確保に努めています。学校から報告された危険箇所は、夏期休業中に教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察等が参加する合同点検を実施しています。明らかにあった対策必要箇所については、必要に応じて具体的な対策を検討しています。

Q 体育の授業やスポーツなどで、熱中症を引き起こす危険性が高くなることは周知の事実です。学校体育館など運動時の熱中症対策をどう進めていくのか教育長に伺います。

A 授業や活動前には、活動場所の暑さ指数を測定し、状況によ

っては活動を中止したり内容を変更したりするなど、柔軟に対応しています。また、情報提供および指導を継続し、熱中症事故の未然防止に努めています。

Q 休日部活動の地域移行に対する考えなどを把握するための実態調査アンケートの結果はどうだったか教育長に伺います。

A 小中学生の6割が「平日と同じ活動に参加したい」、2割は「違う活動をしたい」と考えています。休日部活動が自主参加になった場合は、6割程度の子どもが「参加したい」、4割程度は、「参加したくない」と考えていることが分かりました。また、保護者は「子どもの気持ちを優先したい」とする方が半数を超えていました。



安心して暮らせる活気あふれたまちづくり

山宮 敏夫



Q 地域コミュニティの周知状況と現状及びコミュニティセンターの活用状況について伺います。

A 地域の皆さまによる自主的な取組が始められており、情報紙の回覧で周知され、SNS等の活用も進んでいます。「コミュニティセンター」においては、多くの方々が利用しており、今後も活用しやすい施設となるよう努めます。

Q 安心して働ける環境づくりと主要産業の安定化策について伺います。

A 経済活動の再開に伴い、以前のにぎわいを取り戻しつつも燃料価格の高騰により、経済回復は鈍化しています。農業においては、凍霜害や高温などの被害が重なり厳しい状況で、効果的な施策を検討します。

また、収入保険の普及利用拡大の取組を進め、国や県の補助金等を活用した支援を中心に安定化を図っていきたいと考えています。観光業においては、観

光協会などの関係団体と協調し、時期を捉えたイベントの開催や観光客誘致に向けた積極的なPRなどに取組んでいきます。

Q 安全安心なまちづくりについて伺います。

A 災害における被害状況の見直しについては、国・県の修正見直しに合わせ行います。また、土砂災害危険箇所の対策は行内関係各課と綿密に連携し効率的な対応が取れるよう努めます。

また、防災行政無線・緊急告知FMラジオ・防災アプリを有効的に活用したいと考えています。農林業における自然災害においては日々の気象データを注視し適切な対応を図っていきたいと考えています。



白沢町の防災行政無線

行政調査

報告

沼田市議会では、沼田市のさまざまな問題解決に積極的に対応してまいります。
今回は、保育園の老朽化について現地調査を実施しました。

民生福祉常任委員会

川田保育園について、建築後51年が経過している木造建物であることから、民生福祉常任委員会において、施設の老朽化の度合い、安全性の確保、他の用途への転用の可能性等の視点から



園舎入口の様子

調査を行いました。
今回の調査により、外観以上に建物内部の老朽化が著しいことを確認しました。職員皆さまの創意工夫の元、園児たちはのびのびと過ごしている様子を伺えましたが、園長より水道水の濁りが気になるとのご意見をいただきました。当委員会として当局に早急な改善を要望したところ、浄水器が設置されました。
園児の健康と安全を最優先して施設の維持管理を行わなければならないことを当局を交えて委員全員で議論し、再確認しました。これは議会と行政が両輪となって市政運営を行う好事例であると認識しています。また、管内調査により自身の目で見たいものに対して、全委員が意見を出し合い、市民のさらなる幸せを願う気持ちを大切に、今後も実施してまいります。



園長との意見交換の様子



浄水器の設置完了

次回定例会の日程

次回定例会は、12月5日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

市民の皆さまへ「議会の今を伝える」2006年に創刊した沼田市議会だよりは、先輩議員からその思いを引き継ぎながら歴史を重ねてまいりました。

4月の市議会改選に伴い新たな編集委員会の下、編集会議を重ね、71号では表紙・裏表紙、9月定例会、令和4年度決算審査特別委員会・一般質問と担当を決め、期数のバランスをとって2人1組でチームを組んで議員自らが編集を行っております。

沼田市の課題に取り組む議会活動の内容を市民皆さまへ分かりやすくお伝えする紙面編集の努力と工夫、内容の充実を目指し努めてまいります。

編集委員長 星野 妙子



編集会議の様子

議会だより編集委員会

委員長 星野 妙子

副委員長
委員

小野塚正樹 智 宗利
齋藤 相澤

鈴木 誠 敦子 宣之
今成 大東

山宮 敏夫 弘
井上

高柳 勝巳

齋藤 育子